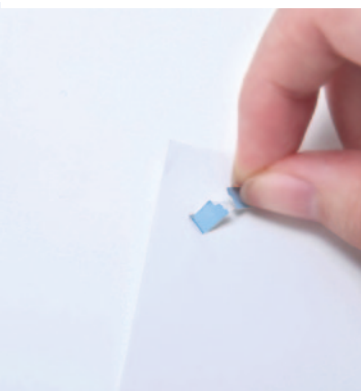
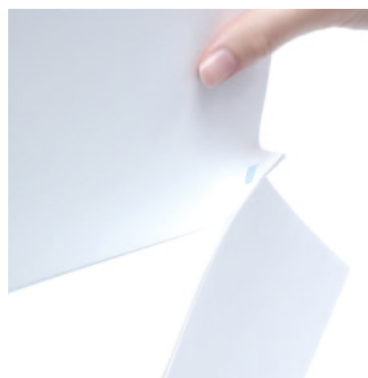
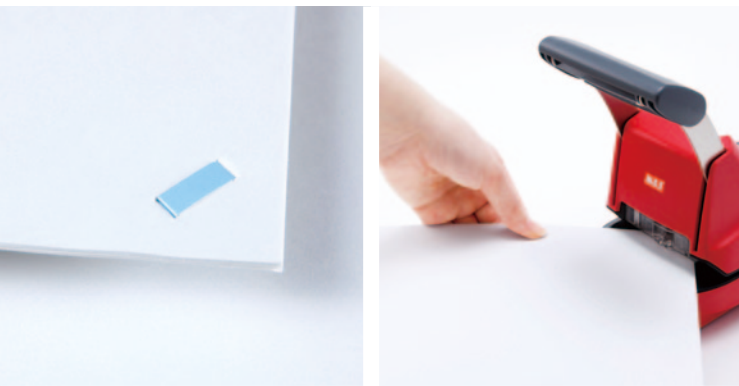


MAX[®]

証券コード:6454



MAX REPORT

株主のみなさまへ
83期 第2四半期報告書(累計)

自平成25年 4月1日 ▶ 至平成25年 9月30日

経営基本姿勢

顧客の支持を高め、いきいきと楽しく力を合わせ
皆揃って成長していく集団を目指す

1. 顧客を知る、現場を知る経営に徹する

自分達の顧客は誰か。そしてその顧客を知るために、また自らを知るために、「現場」「現物」「現実」の三現主義を徹底して実践し、その問題の原因、課題を解決することで顧客価値を高め、企業価値を高めます。

2. ガラス張りの経営に徹する

連結決算を重視し、一般に公正妥当な会計基準に基づき、企業の方針、業績、実態を適時・適切に社内外に公開してまいります。

3. 全員参画の経営に徹する

社員は仕事を通して積極的に経営に参加し、それぞれの役割の中で事業成果を拡大してまいります。

4. 成果配分の経営に徹する

結実された成果は、「株主」「社員」「社会」に公正に配分してまいります。

経営方針

顧客との結びつきをさらに深め、顧客を知り、顧客の支持を高める

もくじ

経営基本姿勢・経営方針	1	セグメント別の概要	5・6
株主のみなさまへ	2	新製品のご紹介	7・8
財務ハイライト	3	会社情報/株式の状況	9
連結財務諸表	4	利益配分に関する基本方針/配当/株主メモ	10

※本資料の将来に係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日ごろから格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、「現場」「現物」「現実」の三現主義を全社・全組織において実践して顧客の問題、課題を解決することで、顧客価値を高め、企業価値を高めてまいります。

ご報告

当期の概要について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和の効果により、着実な景気回復の動きを見せました。国内新設住宅着工戸数も消費税率引き上げ前の駆け込み需要を背景に増加しています。その一方で、米国の財政金融政策に対する不透明感や欧州債務問題、新興国経済の成長鈍化など、世界経済の先行きは依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況の下で当社グループは、当期の経営方針を『顧客との結びつきをさらに深め、顧客を知り、顧客の支持を高める』と定め、CRM(カスタマー・リレーションシップ・マネジメント)を強力に推進し、「現場」「現物」「現実」の三現主義を全社・全組織において実践して顧客の問題、課題を解決することで、顧客価値を高め、企業価値を高めてまいりました。

この結果、売上高は306億5千9百万円(前年同期比11.4%の増収)、営業利益は21億8千7百万円(同7.8%の増益)となりました。経常利益は、前期に比べ為替差損が減少したことなどから、22億5千3百万円(同15.3%の増益)、四半期純利益は14億2千8百万円(同86.7%の増益)となりました。

今期の見通し

継続する債務問題に伴う欧州経済の停滞や新興国の成長鈍化、円安進行による原材料価格の上昇など、当社グループを取り巻く環境は依然として不透明な状況にあります。国内および北米での良好な建築市況やオートステープラ事業の順調な回復を背景に、当社事業収益は堅調に推移しています。このような状況を鑑み、平成25年4月26日に公表した平成26年3月期連結業績予想について、現時点において変更はありません。

今後とも株主の皆様には、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成25年11月

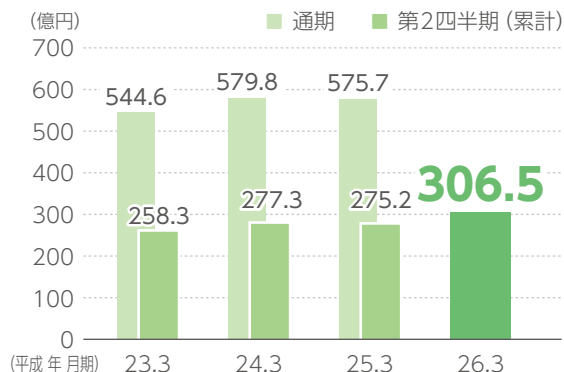


代表取締役社長

川村 八郎

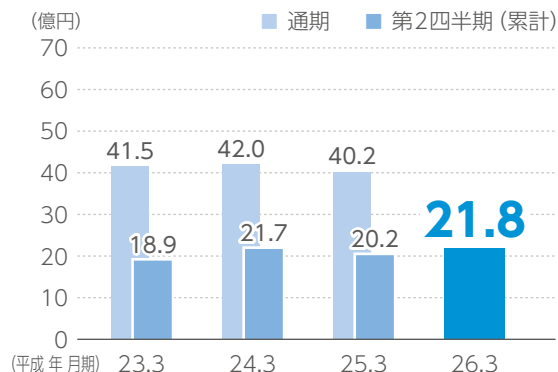
連結損益計算書の概要

売上高



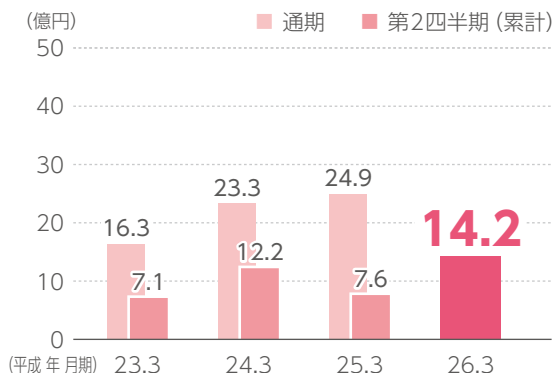
円安による増収効果と国内住宅市場の回復により、増収となりました。

営業利益



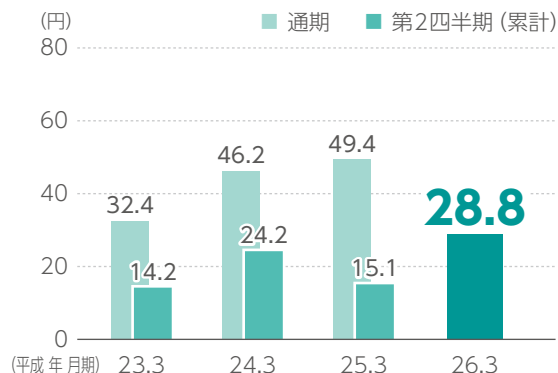
販売管理費などが増加したものの、増収を背景に営業利益は前年同期を上回りました。

当期純利益



6.6億円の増益となりました。前年同期には投資有価証券評価損が計上されています。

1株当たり当期純利益



四半期純利益の増加により、前年同期15.1円から28.8円に増加しました。

連結財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 (平成25.3.31現在)	当第2四半期 連結会計期間 (平成25.9.30現在)
資産の部			
流動資産		43,783	38,155
固定資産		40,056	42,502
有形固定資産		18,514	18,496
無形固定資産		221	247
投資その他の資産		21,319	23,758
資産合計		83,839	80,658
負債の部			
流動負債		12,649	10,530
固定負債		7,405	7,623
負債合計		20,055	18,153
純資産の部			
株主資本		65,486	63,781
その他の包括利益累計額		△ 2,006	△ 1,375
少数株主持分		304	98
純資産合計		63,784	62,504
負債・純資産合計		83,839	80,658

損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前第2四半期 連結累計期間 (皇 平成24.4.1 皇 平成24.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (皇 平成25.4.1 皇 平成25.9.30)
売上高		27,527	30,659
売上原価		16,771	19,087
売上総利益		10,755	11,572
販売費及び一般管理費		8,727	9,385
営業利益		2,028	2,187
営業外収益		229	151
営業外費用		303	86
経常利益		1,954	2,253
特別利益		90	70
特別損失		694	23
税金等調整前四半期純利益		1,350	2,299
四半期純利益		764	1,428

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

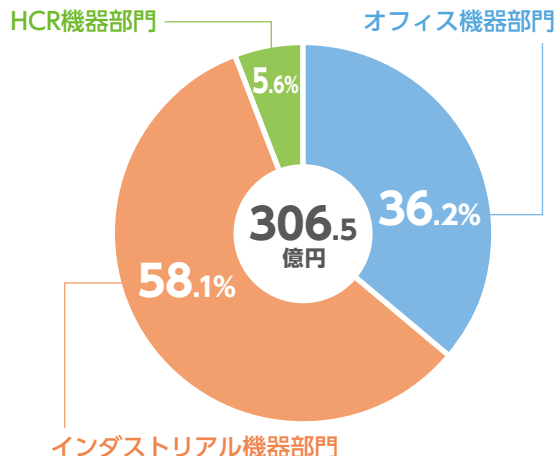
科目	期別	前第2四半期 連結累計期間 (皇 平成24.4.1 皇 平成24.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (皇 平成25.4.1 皇 平成25.9.30)
現金及び現金同等物の期首残高		14,387	16,073
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,390	1,429
投資活動によるキャッシュ・フロー		506	△ 2,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,016	△ 3,784
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 107	46
現金及び現金同等物の増減額		772	△ 5,201
現金及び現金同等物の四半期末残高		15,160	10,872

Point

- 1 投資有価証券が増加したことなどにより、固定資産が増加しました。
- 2 配当金の支払いや自己株式の取得による支出のため、減少しています。
- 3 為替差損が前年に対して大幅に減少したことで営業外費用が減少し、増益となりました。
- 4 税金等調整前当期純利益が増加したものの、法人税等の支払いが増加したため、減少しました。
- 5 営業活動によるキャッシュフローの収入に対して、投資・財務活動によるキャッシュフローによる支出が増加したことにより、減少しました。

セグメント別の概要

● 平成26年3月期第2四半期累計売上高構成比



オフィス機器部門

- ・ オフィス事業は、主力のホッチキスをはじめとした文具や事務機械を通じてオフィスワークをサポートしています。
- ・ オートステープラ事業は、国内外ほぼ全ての複写機メーカーに搭載される電子ホッチキスおよび消耗品を供給しています。

インダストリアル機器部門

- ・ 機工品事業は、主力の釘打機をはじめとした木造建築用の工具、コンクリート構造物向けの建設用工具などを供給しています。
- ・ 住環境機器事業は、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システムなどを通じて、住まいの快適環境づくりを提案しています。

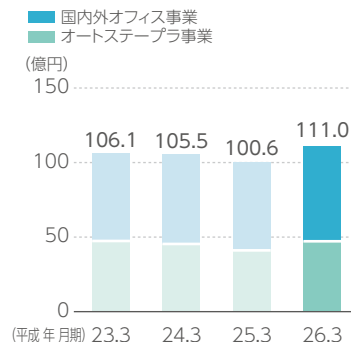
HCR機器部門

- ・ 車いすやシニア向けの4輪自転車などの供給を通じて、高齢者の自立生活を支援しています。

■ オフィス機器部門



第2四半期累計売上高推移



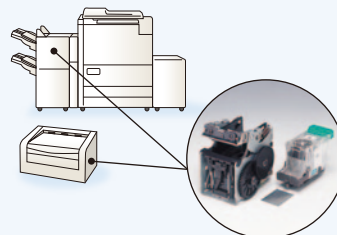
国内外オフィス事業

国内は業界初の新構造を採用した穴あけパンチや紙針ホッチキスなど文具の新製品が寄与し、海外は南アジア市場での拡販が進み、増収となりました。



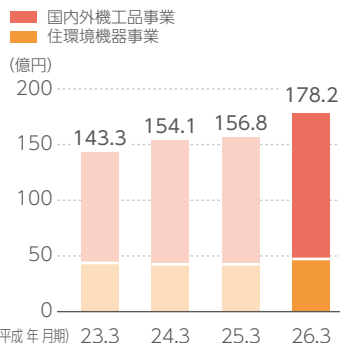
オートステープラ事業

前年の第3四半期より出荷量は回復傾向にあり、機械・消耗品ともに販売が順調に推移し、増収となりました。



■ インダストリアル機器部門

第2四半期累計売上高推移



売上高

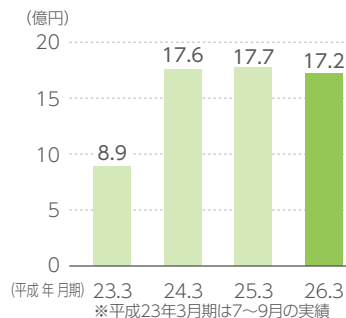
178億2千2百万円 ↑

営業利益

2億7千4百万円 ↑

■ HCR機器部門

第2四半期累計売上高推移



売上高

17億2千9百万円 ↓

営業利益 (損失)

△1億4千5百万円 ↓

国内外機工品事業

国内は木造建築用工具やコンクリート構造物向け工具の販売が好調で、海外は北米での良好な住宅着工を背景に、増収となりました。



住環境機器事業

マンション着工の回復傾向を受け、主力の浴室暖房換気乾燥機や換気システムの販売が堅調に推移し、増収となりました。



HCR機器部門

新製品の歩行器やシニア向け自転車が発売高に寄与するも、円安によるコストアップの影響を受け、減益となりました。



新製品のご紹介

当社は、お客様の要望を細かく分析して、ニーズにマッチした商品やサービスを市場に送り出し、お客様の支持を得てきました。用途にマッチしたツールであるがゆえに、プロユースであり、形や仕様はユニークです。当社の商品はロングセラーでマーケットシェアが高く、世界で初めてという商品も多くあります。ここでは、83期 2013年4月から、9月に外部発表した新製品をご紹介します。

2013
04



5/20発売

個人情報保護用ローラー式スタンプ
「コロレッタ アニマルコレクション」

05

06

07

08

09



8/26発売

ビーポップ
「CPM-100SH」



4/8発売

充電式防じん丸のこ
「PJ-CS51DP」



6.17 発売

紙針ホッチキス「P-KISS」

"こより"のようにあけた穴に紙の消耗品を通して書類をまとめる紙針ホッチキス「P-KISS (ピーキス)」。15枚までの書類をしっかりとじられるだけでなく、一旦とじた後でも紙針を切ることで簡単に書類を外せるため、コピーや資料の差し替え時にも重宝する商品です。

7.22 発売

スーパーエアコンプレッサ
「AK-1250E2シリーズ」

エアの圧縮効率を高めた独自の技術を踏襲しつつ、通常運転時の消費電流を引き上げ高圧域での吐出量を10%向上、エアの充填時間を短くできます。また、現場での近隣住民への騒音配慮のため、通常運転時での発生音を従来機より2dB低減しています。





9/20発売

鉄筋結束機
「RB-399Aシリーズ」



9/24発売

充電式静音インパクトドライバ
「PJ-SD101」



10.7 発売

ハンディホッチキス「サクリフラット」

スイーツをイメージしたツートンカラーの愛らしいデザインに加え、独自の機能を盛り込み10号針のパフォーマンスを最大限に発揮する最大28枚のとじ枚数を実現。分厚い書類も片手で軽くとじることができます。

10

11

9.30 発売

高圧釘打機
「HN-50N2」

射出部の先端に装着する部品を2種類備えた“ダブルノーズストップ”方式を採用し、業界最多の108種類に対応しています。釘の太さに合わせて部品を付け替えることで、細い釘から太い釘まで確実な打ち込みを実現します。



10/2発売

タイムレコーダ
「TIMEROBOシリーズ」

10.28 発売

4輪自転車「クークルM」

高齢者でも安心して乗れる自転車「クークルS」については、高い安定性などを評価いただく一方で、スピードが出ない設計に不便を感じるのご意見もありました。転倒しにくい高齢者向け自転車の基本コンセプトをそのままに、走行性能を高めた「クークルM」をラインアップに加えました。



会社情報 / 株式の状況

会社概要 (平成25年9月30日時点)

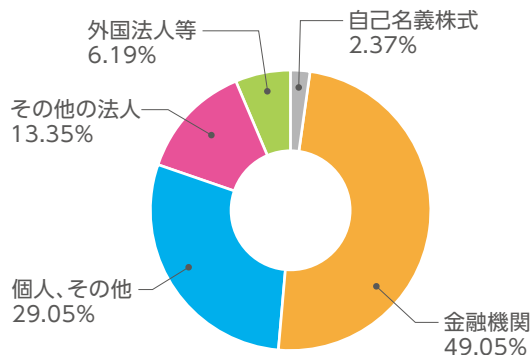
商号：マックス株式会社
 本社：東京都中央区日本橋箱崎町6番6号
 設立：昭和17年11月26日
 資本金：123億6千7百万円
 従業員：2,814名
 グループ会社：連結子会社24社
 (国内13社、海外11社)

取締役・監査役・執行役員 (平成25年9月30日時点)

代表取締役社長	川村 八郎	常勤監査役	亀ヶ谷 正次
常務取締役上席執行役員	塩川 博	常勤監査役	木暮 郷司
常務取締役上席執行役員	樋口 浩一	社外監査役	畠山 正誠
取締役執行役員	村山 恵司郎	社外監査役	望月 眞宏
取締役執行役員	黒沢 光照	上席執行役員	藤岡 龍司
取締役執行役員	岸 信夫	上席執行役員	柳澤 徳仁
取締役執行役員	浅見 泰	執行役員	中野 俊和
取締役執行役員	西川 博文	執行役員	加藤 賢二
取締役執行役員	角 芳尋	執行役員	山崎 隆

※監査役 畠山正誠、望月眞宏の両氏は、「会社法」第2条第16号に定める社外監査役です。

株式分布状況 (所有者別株式数比率) (平成25年9月30日時点)



発行可能株式総数：145,983,000株
 発行済株式の総数：50,500,626株
 株主数：4,498人

大株主 (上位10位まで) (平成25年9月30日時点)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,284	8.69
日本生命保険相互会社	4,025	8.17
マックス共栄会第一持株会	3,564	7.23
マックス共栄会第二持株会	2,780	5.64
株式会社みずほ銀行	2,344	4.76
株式会社群馬銀行	2,114	4.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,627	3.30
明治安田生命保険相互会社	1,588	3.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,521	3.09
マックス従業員持株会	1,052	2.14

※当社は2013年9月30日現在で自己株式1,198,833株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

利益配分に関する基本方針/ 配当/株主メモ

利益配分に関する基本方針 / 配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、事業の成長を図り、事業利益を追求することにより自己資本当期純利益率(ROE)を向上させ、業績に裏づけされた成果の配分を行うことを基本方針としております。

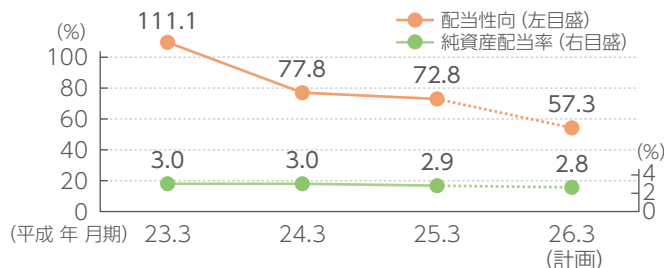
当社の配当政策は、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率2.5%を目指す」を基本方針としています。

当期は、先行き不透明な経済環境や為替動向などが当社業績に対し影響を及ぼす可能性があります、事業収益は堅調に推移しており、財務状況などを総合的に勘案して、前期と同様の「1株当たり年間配当金36円」とする予定です。

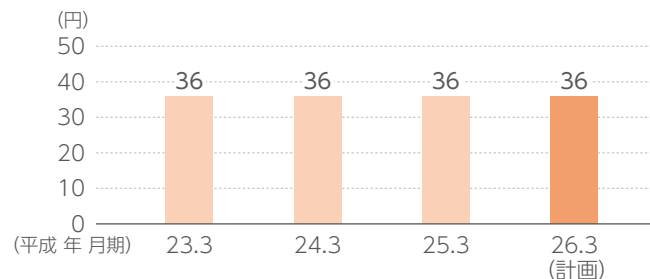
株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031 インターネットホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	1,000株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします。 http://www.max-ltd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京

■ 配当性向/純資産配当率の推移



■ 1株当たり配当金の推移



第4回 マックス

「心のホッチキス・ストーリー」

大募集

～毎日の生活の中で、「あなたが今、ホッチキスしたいこと」をお寄せください～

平成25年 10月1日(火)～12月8日(日)

何気ない生活の中にある、「今の幸せ」「家族との結束」「人との付き合い」など、
いつまでも心にとどめておきたい思い出や出来事などを募集しています。

応募資格： どなたでもご応募いただけます。

募集内容： あなたが心にとどめておきたいことや、つないでおきたいこと。

(例えば、「今の幸せ」や「家族の絆」、「友だちとの思い出」など、どんなことでも結構です。)

募集期間： 平成25年10月1日(火)～平成25年12月8日(日) ※当日消印有効

応募方法： 原稿は400字程度(超過、未満可)。自作未発表作品に限ります。

表彰：

マックス・心のホッチキス大賞	1点	ギフト券5万円とマックス製文具セット (4千円相当)
マックス・U-18大賞(高校生の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(中学生の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(小学生以下の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス賞	5点	図書カード5千円とマックス製文具セット(4千円相当)

※マックス・U-18大賞は、高校生以下の応募作品が対象です。

応募先： 当社ホームページの応募専用フォームもしくは郵送で受け付けます。

・ **当社ホームページの場合**

https://wis.max-ltd.co.jp/enq/story4_form.html

・ **郵送の場合**

住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、ペンネームを明記の上、
以下の宛先までご応募ください。

〒103-8601 日本郵便株式会社日本橋郵便局留

マックス「心のホッチキス・ストーリー」事務局 係

審査発表： 当社にて厳正な審査をし、入賞者には直接通知し、ホームページ上に
掲載いたします。発表は平成26年2月下旬を予定しております。

詳しくは
当社ホームページへ
アクセス!



著作権について：応募作品の全ての著作権(著作権法第27条
および第28条に定める権利を含む)は、マックス株式会社に
帰属いたします。また、応募作品は、返却いたしません。

なお、応募作品は、出版、映像化(映画・テレビ・DVDなど)、舞
台化、放送、ネット配信などの方法で利用することがあります。



印刷時に、VOC(揮発性有機
化合物)などを含む湿し水が
必要となる水なし印刷です。



CO₂を排出しないグリーン
電力を一部使用している
工場印刷しています。



石油系溶剤の一部を植物
油に置き換えたベジタブル
インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)
に基づいた、読みやすい文字
デザインを使用しています。